

# 組織部速報

2017年12月18日

No. 8

## 千早操車場で触車死亡事故発生！ 安全最優先の職場風土を確立しよう！！

2017年12月16日、鹿児島線・千早操車場構内において、JR貨物社員が融雪器の点検中に旅客列車と触車し死亡する鉄道人身傷害事故が発生しました。

詳細について貨物会社は「調査中」としてはいますが、事故速報には「融雪カンテラの設置・撤去及び給油時は、必ず列車見張を立てることが定められている」とし、社員の不注意が事故の一因であるかのような記載があります。

貨物労組は、2007年に発生した東青森駅の触車死亡事故以降、二度と再び組合員・社員の犠牲を出さないために「危険を感じたら列車を止める・作業を中断する」ことを訴えてきました。しかし、またしても同種事故が発生したことは残念でなりません。

全組合員に訴えます！！

自分や仲間の命を守るために、安全が最優先の職場風土の確立にむけて安全確立闘争を強化しましょう。そして、働く者が安全で安心して作業ができる職場を私たちの手で作り出しましょう。

### 危険を感じたら「列車を止める」「作業を中断する」を実行しよう！